

科目名	ジャズハーモニーV・VI	形態	演習	開講期	春・秋
担当教員	水野 修平	単位	1	年次	3,4

＝授業科目の目標＝

ジャズハーモニー（I～IV）で学んだことを確実なものにしつつ、追加、補足事項も踏まえて、各自の専門楽器にて実践に結びつけられるようにする。

＝履修の条件と学習の方法＝

ジャズ・ポピュラーコースの学生（3年生）はジャズハーモニー（I～IV）を修得していること。
ジャズ・ポピュラーコースの学生でない場合は相応の内容を理解していること。

＝授業内容＝

題材として様々な曲を用いて、アレンジ、リハーモナイズを参考に
してハーモニーの可能性を探る。強いてはより良いサウンドを見つけ、
総合的に音楽を捉えることが出来る力を身につける。

参考文献(ジャズセオリー ATN 出版)(ジャズピアノブック ATN 出版)な
どを用いて進めていきます。

春学期

- 1回 ガイダンス：シラバス
(講義の目標や内容)の確認。編曲法。
- 2回 様々なスケール 1
- 3回 様々なスケール 2
- 4回 様々なスケール 3
- 5回 4thコード 1
- 6回 4thコード 2
- 7回 3ノートヴォイシング 1
- 8回 3ノートヴォイシング 2
- 9回 3ノートヴォイシング 3
- 10回 レフトハンド ヴォイシング1
- 11回 レフトハンド ヴォイシング2
- 12回 トライトーン・サブスティテューション1
- 13回 トライトーン・サブスティテューション2
- 14回 トライトーン・サブスティテューション3
- 15回 まとめ

秋学期

- 1回 スケールの理論 1
- 2回 スケールの理論 2
- 3回 スケールの理論 3
- 4回 ペンタトニックスケール1
- 5回 ペンタトニックスケール2
- 6回 アッパーストラクチャー1
- 7回 アッパーストラクチャー2

- 8回 基本的なりハーモナイゼーション1
- 9回 基本的なりハーモナイゼーション2
- 10回 基本的なりハーモナイゼーション3
- 11回 高度なりハーモナイゼーション1
- 12回 高度なりハーモナイゼーション2
- 13回 高度なりハーモナイゼーション3
- 14回 高度なりハーモナイゼーション4
- 15回 まとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

レポート提出、小テストおよび出席数（率）で評価します。
出席、テスト点数、授業内での理解度に問題が無ければAを。以下、それに応じてB～。

＝テキスト（必携）＝

特になし